

## 広げよう支援の輪

～認知症の人にやさしいまちを目指して～



認知症の患者数は高齢化の進行とともに増え続けています。

認知症は誰が発症してもおかしくない病気であり、決して他人事ではありません。

下呂市内では、認知症について正しい知識を持ち、高齢者を見守る人が増えています。

今回は地域の『応援者』をご紹介します。

### 地域の中でこのような見守りがひろがっています

認知症になっても住み慣れた地域でその人らしく生活していくためには、  
地域のサポートがとても大切です。

#### 民生委員・児童委員

民生委員・児童委員は、日々の生活の見守り活動の中で、高齢者等の困りごとの相談を聞いたりしています。

関係のある機関へつなぐパイプ役としても活躍している、地域の身近な相談役です。



#### 市内に広がる『認知症サポーター』

認知症について正しく理解し、認知症の方やそのご家族を温かい目で見守る応援者である『認知症サポーター』。

小・中学校、高校、地域、企業等で認知症サポーター養成講座を行い、これまでに2,933人の『認知症サポーター』が誕生しました。



宮田小学校での認知症サポーター養成講座

### 地域のサポートの輪

#### 高齢者見守りネットワーク事業

市内の事業者が、日常的な業務の中で、高齢者等の異変に気付いた場合、福祉事務所や地域包括支援センターへ情報提供を行うなど、市と連携して見守り活動を行っています。現在、金融機関や運送会社、保険会社や訪問販売業者などの23団体が下呂市と提携を結んでいます。



和川区民の認知症サポーター養成講座



## 身近な理解者「認知症サポーター」になりませんか？

認知症のこと、認知症の人のことなどを正しく理解し、  
みんなでサポートすることで、  
誰もが暮らしやすいまちをつくっていきましょう。



下呂市では「認知症サポーター養成講座」を開催しています。

この講座は、認知症の正しい理解や対応方法、認知症予防についての普及活動の一環として、自治会での区民講座、小中学校・高校、金融機関、警察署、シニアクラブ、商工会、水道料金センター、薬剤師会、など様々な場所で開催しています。

受講していただいた方には、認知症の応援者の証として「オレンジリング」が配られます。地域や職場、数人のグループや団体を対象に無料で開催していますので、ご希望の方は、下記の窓口へお気軽にお問い合わせください。



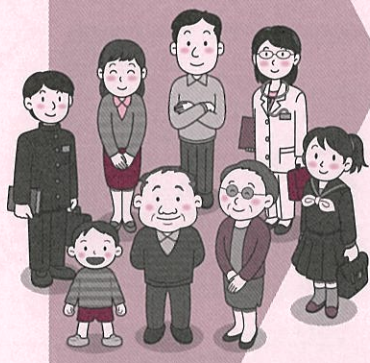
### いつもと違うなと気になったら・・・

地域の中で、知らないうちに認知症になっていたり、暮らしや虐待の問題が起きていたり、消費者被害に遭っていたりすることがあります。

下記のような異変が見られたら、**地域包括支援センター**にご連絡ください。

チェック

見守りの  
ポイント



会話のつじつまが合わない ☐

季節に合わない服を着ていたり、服が汚れていたりする ☐

不自然なけがが増えている ☐

怒鳴り声が聞こえる ☐

最近見かけない ☐

新聞・郵便物がたまっている ☐

夜になっても電気がつかない ☐

家に見かけない人が出入りするようになった ☐

下呂市地域包括支援センターでは、認知症に関する事や、介護保険のご利用の相談など、高齢者の総合的な支援を行っています。

ご相談・お問い合わせ（午前8:30～午後5:15）

**下呂市地域包括支援センター**

萩原 星雲会館1階 ☎53-2100

金山振興事務所1階 ☎32-3320

※土日・祝日は地域包括支援センターの携帯電話に転送されます。